

家の中の温暖化対策  
冬も「うちエコ!」を

平成19年版環境白書によると、わが国の二酸化炭素排出量は、京都議定書の規準年である1990年と比較して、産業部門では減少していますが、家庭からの排出量は大幅に増加しています。そこで冬も引き続き、私たち一人一人が家の中でできる温暖化対策「うちエコ!」に取り組み、暖房器具の使用を控え目にすれば、二酸化炭素の排出量は左表のように削減することができます。

家庭でできるCO<sub>2</sub>削減の取り組みと効果(1年間)

品目	活動	削減効果		
		CO <sub>2</sub>	原油換算	
暖房器具	暖房設定温度を21℃から20℃にすると(1日9時間使用)	エアコン(2.2kW)の場合	29.5 <sup>キログラム</sup>	13.4 <sup>リットル</sup>
		石油ファンヒーターの場合	25.4 <sup>キログラム</sup>	9.7 <sup>リットル</sup>
		1日1時間運転を短縮すると(設定温度20℃)	22.6 <sup>キログラム</sup>	10.3 <sup>リットル</sup>
	設定温度を「強」から「中」にすると(1日5時間使用)	エアコン(2.2kW)の場合	41.5 <sup>キログラム</sup>	16.0 <sup>リットル</sup>
		石油ファンヒーターの場合	103.2 <sup>キログラム</sup>	46.9 <sup>リットル</sup>
		電気カーペット(3畳用)の場合	27.2 <sup>キログラム</sup>	12.3 <sup>リットル</sup>
	電気こたつの場合			

恵那市環境基本計画

2月の不燃・資源ごみ収集日

町名	地区	収集日	町名	地区	収集日	
大井町	1・14区(正家後田含む)	1日	岩村町	本町、柳町、新道、江戸町	1日	
	2・4区	4日		新市場、日の出、日の出三、殿町	4日	
	3・13区	5日		西町、新町、朝日町	4日	
	5・6区	6日		石畑、大根洞、一色、緑ヶ丘	5日	
	7・8区	7日		領家、山上、大通寺、1~3区、上平、さつきヶ丘、八本木住宅、菅沼	6日	
	9・10区	8日		4~8区、旭ヶ丘、百合ヶ丘、下本郷	7日	
	11・12区	8日		山田	8日	
	長島町	中野(永田川東)	12日	山岡町	田沢、久保原	12日
		中野(永田川西)	13日		原、田代	13日
		正家(後田を除く)	14日	上手向、下手向、釜屋	14日	
		大洞地区	15日	市場町、宮町、本町、常盤町	15日	
永田		18日	東山町、雇用促進住宅、友愛	18日		
東野	全域	20日	明智町	新井町、駅前町、滝坂住宅	19日	
三郷町	野井	21日		新町、徳間町、向町、東町	20日	
武並町	佐々良木・椋実	22日		的場町、片平町	21日	
	藤	26日		門野、杉平、杉平2区、野志、大舟、小泉、吉良見	22日	
笠置町	全域	27日		串原	上・下柏尾、岩竹、安主、土助、才坂、上・下田良子、大栗、上田、阿妻、峰山、中切、高波、馬木、小杉、落倉	25日
中野方町	全域	28日			藤内、風、馬坂	26日
飯地町	全域	29日			中沢	25日
	全域	29日			全域(中沢を除く)	26日
上矢作町	大馬渡	25日		上矢作町	小笹原、島、達原、横道、飯田洞	27日
	小笹原、島、達原、横道、飯田洞	27日			本郷、木の実	28日
	本郷、木の実	28日	漆原(大馬渡を除く)、下、小田子		29日	
	漆原(大馬渡を除く)、下、小田子	29日				

【2月の集団資源回収】

とき	実施団体・問い合わせ
16日(土)	中野方小学校PTA 中野方小学校☎23-2004
23日(土)	長島小学校PTA 長島小学校☎25-4361
	飯地小学校PTA 飯地小学校☎22-3026
	明智町連合PTA 吉田小学校☎0572-65-2609

【2月の食用廃油(使用済てんぷら油)の回収】

とき 2月9日(土)~11日(月)

【2月の日曜日サイクル広場】

とき 2月17日(日)午前9時~11時(雨天中止)  
ところ 市役所前駐車場  
回収品目 紙類、古着、飲料缶、瓶類、ペットボトル、プラスチック類、食用廃油

医療情報トピックス

「ひろげるなインフルエンザ  
ひろげよう咳エチケット」

インフルエンザが流行する時期になりました。今冬のインフルエンザは、昨年に比べ1カ月ほど早いペースで患者数が増えているといわれています。

厚生労働省では、今冬のインフルエンザ総合対策として「ひろげるなインフルエンザ・ひろげよう咳エチケット」を合言葉にマスクの着用や、せき・くしゃみの際にティッシュなどで鼻や口を押さえるなどして、ウイルスを周囲に飛ばさないように呼び掛けています。

このエチケットはインフルエンザ防止のためばかりでなく、通常のかぜなどの拡大防止にも共通するものです。「人にうつしても、うつされても困る」お互いの心配りが流行を防ぐことにつながります。そのほかにも、人込みは避けるだけ避け、帰宅時には必



ずうがいと手洗いを。疲労をためず睡眠不足を避け、バランスよく栄養を取るよう心掛けてください。

ノロウイルスによる  
感染性胃腸炎にご注意を

冬に嘔吐、下痢、腹痛、発熱(38度以下)などがある場合には、まず感染性胃腸炎(ウイルス性胃腸炎)を疑いましょう。冬場の胃腸炎の主な原因は、ノロウイルスによるものです。

食中毒のように、このウイルスに汚染された水や食品を口にすることで感染し、また風邪のように人から人へも感



染します。特に乳幼児や高齢者は、感染すると脱水症状を起し、重症化することもありますので注意が必要です。気になる症状がある場合は、医療機関で診察を受けましょう。

感染予防のために、外出後は必ずせっけんで手をよく洗いましょう。また吐いた物などを処理する際は、手袋・マスクを着用し、ぞうきん・タオルでしっかりとふき取り、ふき取ったぞうきんやタオルはビニール袋に密封して捨てるなどして、二次感染に注意してください。



病院管理課 TEL26-2111(内線528)

花粉対策はお早めに

通常は、1月に入るとスギ花粉が全国各地で徐々に観測され始めます。2月上旬、気温の高い地方から順にスギ花粉が飛散し、3月中旬には、ほぼ全国的にスギ花粉を観測します。

花粉症には、症状を抑えるためにいろいろな種類の薬が使われます。また症状の程度により使い分けられています。

花粉症を薬で治療するときには、ポイントがあります。内服薬はシーズンに入って症状が重くなつてから服用するのではなく、症状の出る2週間前から飲み始めると効果的です。

新聞やテレビなどで発表される花粉情報に気を付け、早めに治療を始めましょう。ただし、薬の効果には個人差がありますので医療機関で受診し、医師の指導と薬の処方に従ってください。

お知らせ

市立恵那病院では、電子カルテの導入準備を進めています。

電子カルテは、パソコンの画面にカルテが表示され、医師・看護師・技師などが各診療科や各部門で同時にカルテを見ることが出来ます。

これにより、治療に必要な患者情報をそれぞれの科や部門で把握しやすくなり、結果的に医療の質を高め、安全性の向上にもつながります。また患者さんには病気の状態が分かりやすく説明できるようになります。

電子カルテの導入後は、一時的にご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、ご理解とご協力をお願いします。

カルテ=医療機関を受診したときの診療記録。病状、検査結果、投薬や処置の内容など、医師・看護師・技師などの患者にかかわるすべてのスタッフが共有する情報が網羅されたもの